

落合東小より

編集・発行
落合東町内会
自治会連合会
発行責任者
土井澄男



自主防災会 香川 雅巳

大雨注意報並びに警報発令時に、警戒レベル3の高齢者等避難が発表されると、区役所から避難所開設の連絡があります。



連絡を受けると、当学区の指定緊急避難場所である落合東小学校に、市職員・自主防災会・小学校の三者で開設・運営を行います。

第7波に突入した新型コロナウイルス

ウィルス感染ですが、拡大防止対策を行いながら運営しています。

避難する時には、体育館入口で体温測定・手指消毒・体調等の問診を行い、受付手続きをします。平熱・体調良好者は、従来通り体育館でスペースを確保します。発熱・体調不良者は別室へ案内するとともに、簡易テントを使用し、飛沫感染を防ぎます。換気・消毒等を十分に行います。ペット同伴では、避難所に入れません。

避難所は、生活備品等は何もありません。飲料水・食料品・衣類等必要な物は各自で用意を

行きも帰りも 広島バスで (赤バス)

してください。

災害は時間・場所を問わず、突然にやってきます。

「自分の命は自分で守る」を念頭に、身の危険を感じたら早く避難しましょう。

避難行動 要支援者に 対する支援



社協副会長 河原 暢之

行政から毎年提供される避難行動要支援者名簿（同意者リスト）に基づいて、民生委員が個別に訪問するなど、その都度確認を行っています。災害時に家族等の支援が得られず、自力で避難できない方々の個別の避難計画が十分でなく、地域の実情に応じた、より実効性の高い計画の作成が必要となっています。具体的には主に民生委員・地区社協等が再調査を行い、要支援者の現況や緊急時の連絡先・避難先での配慮事項や支援を受ける方法・安全な避難経路の確

認や避難時支援者の派遣の必要性等を把握し、防災・避難シート（個別避難計画）を作成します。要支援者名簿を災害時の安否確認システムに取り込み、落合東学区の避難支援者が個別に情報を得られる体制づくりに取り組みます。

本システムの導入により、災害時のより早く確実な避難を進め、要支援者の現況・避難意思を確認し、避難を呼びかけたり関係者へ支援要請を行い、地域が一体となって避難支援の手助けができるよう、学区連合会（全体の統括）・自主防災会を主体に避難支援活動を行っていきたいと思います。

また、災害時の避難支援は地域の助け合い（共助）によるものという意識が高まれば、地域コミュニティの活性化につながります。システム構築後にはシステムを使った避難訓練を実施し、学区内に居住されている方々の防災意識の向上につながっていかねばと思っております。

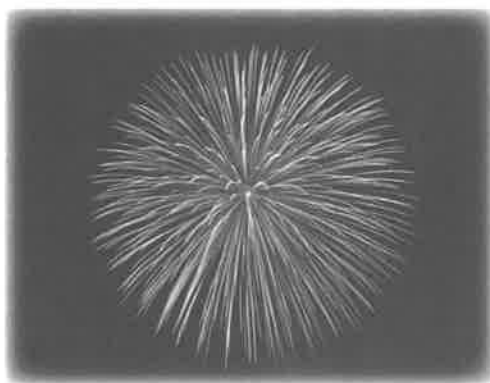
夏まつりのカタチを変えて

密を避け、参加される皆さんの安全を守るため、恒例のカラオケ大会や盆踊り、餅撒きなどはやむを得ず中止、会場の中山公園を全面立入禁止とし、くむら神楽保存会の皆さんが多くの花火を打ち揚げました。



花火を楽しみに集まった観客の熱気

コロナ禍にあつても知恵と工夫をもって必要な地域行事が実施されることを願っています。



コロナに負けず頭上に 見事な大輪の花

ソフトバレーボール大会

ソフトバレーボール部

部長 大志茂栄子

6月26日(日)自治会対抗の大会を行いました。家族で参加しているチームもあれば、経験者と初心者と一緒にチームもありました。

初めての人は、サーブを入れるのが精一杯でしたが、仲間に支えられながら見事にアタックを決め、大歓声が上がるといふ場面もありました。

勝ち進むにつれ、応援も熱が入り、選手も優勝を目指し、白熱した試合展開になりました。決勝戦では熱戦の末、くむらチームが優勝しました。

コロナで中止が続く中、3年ぶりに大会をして、改めて体を動かす楽しさを実感しました。



学区ペタンク大会

体協ペタンク部

部長 板倉 重利

7月17日(日)、コロナ感染の影響で中止を余儀なくされていた学区ペタンク大会を、3年振りに16チーム参加のもとで開催しました。

コロナ対策として、マスク着用・手指消毒・ボール消毒

の実施、また熱中症対策として、水分補給・休息に心がけて頂き、

ひとりの棄権者も出すことなく大会を終えることができました。

大会の成績は次の通りです。なお、今大会の上位入賞チームが安佐北区民スポーツ大会等の出場資格を取得されました。

優勝 ハイライフB (大志茂ファミリー)

準優勝 くむらB (吉本・幸本・堀田)

3位 金平東B (岩崎・菅近・林・石下)

ペタンク普及のため、今後は各町内会自治会でのペタンク大会を計画して頂ければと思っております。



深刻なのが「万引き」

落合東防犯組合

会長 田村 泰一

令和3年度安佐北警察署管内で増加する高齢者(65歳以上)の犯罪の中で、男女ともに「窃盗」が最も多く、特に70歳以上の女性では犯罪全体の89%に上っており、このうち「万引き」が全体の4割近くを占めています。

65歳以上の万引きの犯行動機287人中

「生活困窮」 114人

「お金を払いたくない」 113人

「許されると思った」 46人

「空腹」 14人

また高齢者が「万引き」をする原因として言われているのが「社会的孤立」です。

「独居」は56%

「交友関係」を持つ人がいないは44%

社会的孤立感の解消が高齢者の「万引き」の抑制になるということは以前から言われていますが、それを落合東学区にどの様に反映させるかが課題です。

環境美化にご協力を

公衛協

会長 木村 眞治

環境美化標語【優秀賞】

清掃で

笑顔いっぱい

夢いっぱい

落合東小学校6年 仲野 瑠華

令和4年度安佐北区環境美化標語(小学生の部)の募集において、区内25小学校・応募総数2,388件の中から落合東小学校6年の仲野瑠華さんの作品が見事「優秀賞」に選ばれました。

落合東学区公衆衛生推進協議会(略して公衛協)としても誠に誇らしい限りです。皆様もこの標語に込められた小学生の思いを胸に、町の環境美化に引き続きご協力をお願いします。

ところで、公衛協として毎年開催している6月の「川や道路をきれいにする運動」、7月の「クリーン太田川」は、コロナの影響で3年連続で中止となりま

した。せめて11月の「中山公園落葉清掃」は無事に開催できれ

ばと願っています。

という事で、近年、100名近くの方が集まる一斉清掃は、残念ながら実施できていませんが、各自治会での町内清掃や自宅前の門前清掃、一人で黙々と道路や公園を清掃されている方、散歩や通勤の途中にゴミ拾いをされている方など、皆様一人ひとりの自主活動により、学区内はいつも綺麗な町に保たれています。正に「清掃で笑顔いっぱい夢いっぱい」であります。

この他にも、自宅の玄関先で花を育てられている方、小学校前の花壇に季節の花を植えてくださる方々など、環境美化に多くの皆様のご協力を頂き、改めてこの場をお借りし感謝申し上げます。有難うございます。

最後に、公衛協会長として環境美化標語(一般の部)に応募した私の作品を紹介します。「ポイ捨てはしない。落ちてるゴミは拾う。これが私の二刀流」落選でした。

行事予定

◎学区防災運動会

10月10日(祝) 小学校グラウンド

◎学区グラウンドゴルフ大会

11月13日(日) 中山公園

◎ふれあい朝の一斉見守り・挨拶運動

11月22日(火)

学区内通学路

体育協会

◎広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル

10月9日(日) 広島広域公園他

◎学区ゲートボール大会

11月19日(土) 落合南第5公園

育成会

◎子どもフェスタin高陽

12月4日(日) 高陽公民館

公衛協

◎中山公園清掃

11月6日(日) 中山公園

青少協

◎高陽地区青少年意見発表大会
11月20日(日) 高陽公民館

社協だより

落合東地区社会福祉協議会
社協だより
発行責任者 谷本 俊明

幼稚園と地区社協との交流

安佐北区社会福祉協議会

主事 長澤 加奈

落合東地区社会福祉協議会(以下、地区社協)では、以前から餅つきや焼き芋大会などの行事により落合東幼稚園児と交流をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止が続いています。そうした中、落合東幼稚園の山本園長先生からの相談により、令和4年度は地区社協が行っている7つのふれあい・いきいきサロンの活動に園児も参加することで、地域住民同士の交流を再開

主任児童委員が 変わりました よろしく

7月1日付で澤重嘉代子さんが退任され、大志茂栄子さんに変わりました。

よろしく願います。

また12月1日に民生委員の一斉改選があり、全民生委員が改選されます。

することに
なりました。

第1回目と
なる5月は、

中山公園に
て「いきい

き落合東グ
ラウンドゴ

ルフ」の皆
さんと園児

が、グラウンドゴルフのホール

を一緒に回りました。6月は、

「いきいきサロン コスモス」の

皆さんが落合東幼稚園を訪問し、

園で子どもたちが使用する傘立

ての底板や卒園式などで花を飾

るためのプランターにペイント

しました。

サロンの参加者からは、「子ども

たちから元気を貰った。」「子ども

たちが描く姿を見て」迷うこ

とがない。すぐ勇氣が湧くこと。」

などの感想が聞かれ、交流を通し

て双方が前向きな気持ちになり、

新たな発見も得られた様子でした。

地区社協では、日頃から地域



住民同士が直接ふれあう場の重要性を感じられているからこそ、感染症の影響により行事等での交流の機会が減っている中でも、地域のつながりを途切れさせずに関係性を維持できるようにと、感染症対策を行いながら地域の各種団体等と協力し、新たな取組を始められています。

小規模多機能居宅介護支援施設

げんき高陽は、小規模多機能居宅介護支援という介護保険が利用できるサービス事業所です。利用できる方は、広島市にお

住まいで要支援1から要介護5の認定を受けている方が対象となつていきます。通い・泊り・訪問の3つのサービスのに加え、ケアマネージャーの役割を一つの事業所で行う事となります。

料金は介護保険負担限度額に
応じ(1割・2割・3割)1ヵ
月総額で介護認定に応じ定めら
れています。

その他食事代や泊り利用時の
宿泊費が負担限度額に加算され
ます。

365日営業しており、日曜祝日
や盆・正月も利用することができ
ます。お仕事をしながら自宅介

護されている方、お一人暮らしの方など臨機応変にサービス提供計画を立て、自宅での生活を続けて行けるよう支援しています。

また、サービスご利用にあたりげんき高陽に登録していただきます。登録定員は最大25名、1日の通い定員が15名、泊りが9名となっております。訪問には利用定員はありません。自宅で生活する中で必要とされる支援内容を一緒に検討し、訪問日時を決めさせていただきます。

病気や認知症の影響などで日常生活に支援が必要な一人ひとりに合わせ、オーダーメイドでご利用計画を立てサービスを提供します。

ご不明な点等ございましたらお気軽にご相談ください。

(げんき高陽 管理者 小池淳二
082-841-0188)

残念ながら高齢者のつどい中止

9月19日(日)敬老の日予定の、

高齢者のつどい開催に向けて準備してききましたが、コロナウイルス感染が第7波に入り、急拡大しつつありますので、皆様の安全・安心を守るために中止させていただきます。